

産地イメージを活かした砥部焼酒器

－産地イメージを活かした窯業製品開発研究（H18～19）－

愛媛県産業技術研究所 窯業技術センター 主任研究員 山本 裕三

消費者ニーズに合った新しい製品開発を行うため、県内窯業製品に関する産地や製品の現状及び、イメージ調査を行い、産地イメージを活かした砥部焼製品を試作しました。

砥部焼を対象とした製品試作を行うこととし、砥部焼の窯元と砥部町の酒造メーカーと協力して、酒器の試作を行いました。

試作条件

手作り、手描き 自由な発想 モダンなイメージ
白磁又は青磁 白磁に染め付け
砥部焼らしさを残す 産地との関係

酒の味や香りの感じ方は容器の形状にも左右される

香りを楽しむための酒器



味を楽しむための酒器



○砥部焼の窯元、砥部の蔵元と酒器について検討を行いながら試作することで、酒器の形や大きさにより、酒を楽しむ器として試作することができた。今後は、従来の販売店だけの販売方法ではなく、「酒を楽しむ器」としての販売方法について検討を行う。

協力企業：(有)大西陶芸・永立寺窯・よの陶房・すこし屋・スギウラ工房・協和酒造(株)